

# 福祉サービス第三者評価結果

事業所名 社会福祉法人高谷福祉会 高谷保育園

発効：平成30年3月29日（平成33年3月28日まで有効）

公益社団法人神奈川県社会福祉士会

## 公益社団法人神奈川県社会福祉士会 第三者評価結果

## 事業所基本事項

フリガナ	タカヤホイクエン
事業所名 (正式名称を記載)	高谷保育園
事業所種別	保育所
事業所住所 最寄駅	〒251-0012 藤沢市村岡東3丁目413-1 JR 又は小田急線藤沢駅より 渡内中央巡回バス高谷小入口下車 徒歩 2 分
事業所電話番号	0466-26-2737
事業所 FAX 番号	0466-26-2350
事業所代表者名	役職名 園 長 氏 名 榎居 新
法人名及び 法人代表者名	法 人 名 社会福祉法人 高谷福祉会 法人代表者氏名 理事長 榎居祐三
URL e-mail	masui413-1@cpost.plala.or.jp
問合せ対応時間	8:30 ~17:00

## 事業所の概要 1

開設年月日	昭和 56 年 4 月 1 日
定員数	128 名
都市計画法上の用途 地域	宅地
建物構造	鉄骨・鉄筋コンクリート造 3 階建
面積	敷地面積 (1,483 ) m <sup>2</sup> 延床面積 (703 ) m <sup>2</sup>

## 事業所の概要 2 (職員の概要)

総職員数	40 名
うち、次の職種に該当 する職員数	園 長 ( 1 名) 保育士 ( 23 名) 保健師・看護師 ( 0 名) 栄養士 ( 1 名) その他 (事務員 1 名、調理員 4 名、非常勤体育指導員 1 名、非常勤幼稚園教諭 3 名、非常勤保育補助員 4 名、嘱託医師 1 名、嘱託歯科医師 1 名)

## 事業所の概要 3 (受入・利用可能サービスの概要)

受入年齢	生後 5 ヶ月～小学校就学未満	
延長保育の実施	有 ・ 無	備考：1 歳の誕生日後から 7:30~19:00
休日保育の実施	有 ・ 無	備考：
一時保育の実施	有 ・ 無	備考：
障害児保育の実施	有 ・ 無	備考：
病後児保育の実施	有 ・ 無	備考：

## 保育の方針

基本理念	子どもの健やかな成長を地域・家庭と共に喜び、子育て支援を通して地域社会に貢献する。
基本方針	お子さん一人一人が心地よく生活し活動する場として保育を実践する。
保育目標	豊かな人間性の基礎を育てる。 ・ 心も体も健やかな子ども ・ 自ら進んで行動する子ども ・ 他者の気持ちがわかる子ども ・ 考えること、学ぶことを楽しめる子ども

## 1. 総合コメント

## 総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善を要する点）

## 保育園の概要：

高谷保育園は、JR 又は小田急線藤沢駅よりバス 8 分及び徒歩 2 分の住宅地にある。昭和 56 年に開設し、その後、平成 24 年に全面改築を経て現在に至っている。保育が行われている 3 階建の建物は傾斜地にあり、1 階に厨房や職員更衣室他、2 階に玄関、事務所、図書室、及び 3～5 歳の幼児クラス、3 階に 0～2 歳の乳児クラスがある。定員は 128 名で、調査実施時点での内訳は 0 歳児が 12 名、1 歳児 20 名、2 歳児 24 名、3 歳 24 名、4 歳児 24 名、5 歳児 24 名の計 128 名（内障害児 3 名）で、23 名の保育士も含め 38 名の職員により運営されている。保育目標に「豊かな人間性の基礎を育てる」を掲げ、心も体も健やかな子ども、自ら進んで行動する子ども、他者の気持ちがわかる子ども、考えること、学ぶことを楽しめる子どもを育てる保育を行なっている。

## 優れている点・独自に取り組んでいる点：

## 1. 徒歩圏内に様々な公園があるなど恵まれた立地

住宅地に園庭を広く取り、隣接する村岡城址公園には園庭から直接行くことができる。それ以外にも徒歩圏内に自然豊かな各々特色ある公園が多くあり、散歩先で四季折々の自然に触れたり、十分に体を動かして遊ぶことができる。

## 2. 基本的な生活習慣を大切にされた保育

デイリープログラム（日課）に沿って規則正しい生活を送る事も、基本的な生活習慣と考え、年度始めの 4・5 月に、遊び時間にゆとりを持たせるなど工夫し、園での基本的な生活リズムを身につけ行動できるよう努めている。また、独立した部屋として図書室があり、絵本や紙芝居が備えられ保護者が借りる事もできる。迎えに来園した保護者が、子どもと図書室で絵本を眺め談笑する様子があり、園での保育と家庭での生活の橋渡しにもなっている。

## 3. 経験豊かな保育者によるチーム保育

保育経験が 5 年以上 10 年未満が 6 名、10 年以上が 9 名と、6 割以上の保育士が 5 年以上の経験を有し、かつ離職・転職率が低く当園で経験を積んだ保育士が大半である。その経験豊かな保育士により、子どもたちの創意工夫した遊びを、担当者以外の保育士も受け止めるなど、園全体でチーム保育が展開される中で、子どもたちが元気で表情豊かに活動する様子があり、子どもの豊かな心を育てることに繋がっている。

## 改善を要する点：

## 1. 地域の子育て家庭に向けた支援

藤沢市の地域の子育て家庭への支援事業として地域の児童館を担当し、月 1 回午前中保育士を派遣し相談にのっている。以前は、地域に対して図書室の利用なども行っていたが、現在は行っていない。園として、地域の子育て家庭との交流事業、継続的な相談、施設開放や園の行事への招待など、地域の子育て家庭に向け、保育園の設備及び専門性を活用した支援の取り組みが期待される。

## 2. 第三者委員の活用

第三者委員を「神奈川県保育会保育園利用者相談室」に依頼し設置しているが、サービス改善についての話し合いなどが持たれていない。第三者委員が、苦情解決に社会性や客観性を確保し、子どもや保護者の立場や特性に配慮し、苦情解決への適切な対応を推進するために設けられていることを捉え、保護者の意見や苦情を受け止められるよう園の日々の保育を知り、客観的立場から現状の課題を定期的に話し合う機会を確保するなどの工夫が期待される。

## 3. 災害発生時の施設の機能に応じた地域支援体制構築

災害発生時の園の機能に応じた地域支援体制構築の一環として、「避難所開設マニュアル-災害時の地域被災者のための避難所開設に関わる共通理解ルール」が定められている。しかし、職員への内容の周知と、マニュアルに沿った避難所開設訓練などは実施されていない。公民館を通して打診があった、避難先の小学校まで行けない場合の一時的な避難場所としての受け入れも含め、実効性のある体制構築が期待される。

評価領域ごとの特記事項		
1	人権への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 保育士としての人権の尊重、子どもや保護者への接し方、言葉使いなど研修を行い、職員会議で周知している。現場の中で不適切な対応が見られた場合は、職員会議等で話し合いを行っている。また、虐待防止に関しては、児童相談所などと連携し、情報共有が行われている。外国籍の保護者とは、フリガナ付きの書類など工夫しコミュニケーションと連携を図っている。</li> <li>② 保育日誌等の個人情報、鍵付きの引出しや書庫に保管し管理している。</li> <li>③ 実習生やボランティア、見学者の受け入れにあたっては、「実習生受入れについて」及び「見学者の方へのお願い」を定めている。特に実習生については承諾書を取り交わし、プライバシー保護に関する周知を図っている。</li> </ul>
2	利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 家庭との連絡や情報交換について、入園・進級のしおりに明記している。2歳児までの乳児については、毎日の様子を「家庭連絡帳」で伝え、幼児は、必要に応じて「お便りノート」で保護者と連携を図っている。また、毎月発行の「園だより」や「園長だより」で、家庭との連絡情報交換を行なっている。</li> <li>② 各行事毎に行うアンケートや、各クラスの懇談会や個人面談で出された園全体に関する意見については、毎月発行の「園長だより」に職員で検討した結果をQ&amp;Aの問答形式にて返答している。</li> <li>③ 保護者からの個人的な意見や要望に関しては、「苦情・相談報告書」を作成し、家族の意向ができる限り反映されるよう対応に努めている。</li> </ul>
3	サービスマネジメントシステムの確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 苦情については、玄関の掲示板に掲示されている「ご意見・ご要望の解決のための仕組み（県社協）」に明記している。受け付けた意見や苦情は「苦情・相談報告書」に記入し、その経緯や対応についてなどを時系列で記録し対応している。</li> <li>② 「保健衛生関係マニュアル」に沿って、保育日誌に毎日の温度湿度を記録し、快適な室内環境を整えている。薬品や備品、日用品については、「保健衛生関係マニュアル-薬品の取扱い」などに沿って、「トイレ薬剤表」で在庫を確認し管理している。玩具、タオル、砂場の消毒や除菌、遊具の点検は、「玩具消毒表」を用い定期的に行っている。</li> <li>③ 子どもの検温結果や体調不良、ケガなどの情報を、各クラスの保育日誌の特記事項欄に記載し、体調不良児への対応や与薬の管理などを行っている。各クラスの「ホワイトボード」で感染症発症の状況を保護者に伝えている。また、玄関及び各クラスの掲示板に、「神奈川県感染症発生情報」を貼り情報提供をしている。</li> <li>④ 緊急時の連絡指示・避難等について「緊急時の避難誘導マニュアル」に沿い、毎月避難訓練を行っている。また、年2回心肺蘇生及び人工呼吸法の訓練を行い、全職員が参加している。</li> </ul>
4	地域との交流・連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 藤沢市の子育て支援事業である「あいあい」に市内私立保育園として登録し地域の児童館を担当している。地域の子育てをしている保護者が孤立しないように、月1回半日保育士を派遣し、就学前で保育園に入っていない親子に対し、ボランティア2名と遊びながら相談にのっている。</li> <li>② 散歩に行く公園で、遊びに来ている親子にチラシを渡し、園の見学やトイレの利用が可能な旨の声掛けを行なっている。</li> <li>③ 地域内の高谷小学校を年長組の園児が訪問し、教室や授業の様子等</li> </ul>

		の見学を行っている。老人介護施設訪問を毎年実施している。玉入れなど楽しみながら高齢者と交流している。また町内会の老人会のイベントに年1回呼ばれて参加している。
5	運営上の透明性の確保と継続性	① 評価実施シートで自己評価を行っている。評価実施シートは、3段階で答えられるようになっており、保育園自己評価結果表にまとめられ数値化されている。特に評価の低かった「その日の子どもの状況を保護者一人一人に伝える」について、今後改善できるよう心掛けることを全員で確認している。また、「園の理念・方針の理解を深める」については、職員自身の理解を深めるため掲示を工夫するなど対応している。
6	職員の資質向上促進	① 年間の職員研修を、計画に沿って実施している。カリキュラム会議」では、新人保育士向けに指導計画の立て方などの研修を行っている。 ② 外部研修として「横浜女子短期大学保育センター研修」が受講できるような年間研修計画を立て参加している。 ③ 「実習生受入れ」に沿って、実習生を年間2名程度受入れている。

## 2. 評価項目に基づく評価の結果

### 大項目1 保育環境の整備

評価機関が定めた評価項目に添って、調査を行った結果です

大項目1全体（調査確認事項全80事項）を通してのサービスの達成状況	94%
-----------------------------------	-----

### 大項目1の内容(概要)

1	人権の尊重	子どもや保護者に対する態度や言葉遣い 出生や国籍、性差などによる差別の禁止 子どもの虐待予防や早期発見のための地域の関係機関・団体との連携
2	プライバシー確保	プライバシー確保への配慮 個人情報保護の体制整備
3	家庭と保育園との信頼関係の確立	家庭との連絡、情報交換の体制 家庭の意向・希望の把握
4	苦情解決システム	苦情解決の体制整備
5	環境整備	温度や湿度等の管理 洗剤等の危険物の管理 おもちゃ、遊具等の管理
6	健康管理（感染症対策・救急救命を含む）	体調不良児、けがへの対応 感染症への対応 救急事態発生時の医療機関・家族等との連携
7	危機管理（防災・防犯）	火災や震災等の対応 日常の防災・防犯体制の整備
8	地域の子育て支援	地域内の子育てニーズの把握と支援
9	自己評価と情報開示	自己点検・改善活動の実施 地域への情報提供、情報開示 見学や保育参観の機会の設定
10	職員研修	職員研修の実施 実習生の受入れ、指導

大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもと保育士とのかかわりにおいて、子どもの情緒の安定をはかることや、順調な発育・発達を促すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>ア. 一人一人の子どもの状況や個別配慮事項を個人のケース記録やカリキュラム会議を通して周知し、その子に適した対応をすることにより保育者と子どもの間に信頼関係を築くようにしている。</p> <p>イ. 遊びや生活の中で自分がしようとする気持ちを汲み取り自分でしようとする気持ちを育てていく。</p> <p>ウ. 一対一のスキンシップを多くとったり安心して過ごせるように個別に声掛けをしている。</p>	<p>ア. 椅子の上でおやつを食べることを嫌がり泣く子どもを、保育士が膝に乗せると泣き止み食べたことを、「0歳児 保育日誌」で確認した。0歳児の表情をとらえ、保育士が1対1で保育していることを観察で確認した。</p> <p>イ. 順調な発育・発達過程の中で、自分でしようとする気持ちを捉え育んでいることを、「年齢別指導計画」の記録欄で確認した。昼食時に、当番活動で、汁物をこぼさないように自分で運んでいることを観察で確認した。</p> <p>ウ. 泣くことが多くおんぶや抱っこで過ごしている様子を、「保育日誌」で確認した。0歳児に、保育士が1対1でスキンシップをとりながら保育していることを観察で確認した。</p>
<p>子ども同士のかかわりにおいて、個の違いを認めあうことや他者と自分を大切にすることを育てるためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>ア. 日々の生活や遊びのなかでお互いの長所短所を認め合ったり相手の気持ちに共感できるような体験を多くするように心がけている。</p> <p>イ. 縦割り(異年齢保育)活動を通じて年下の子どもの面倒を見たり、助け合う中で仲間を思いやる気持ちを育めるようにしている。</p> <p>ウ. トラブルがあった時は出来るだけ自分たちで問題を解決できるように保育者は時に見守り、時に仲立ちが出来るように関わっていく。</p>	<p>ア. げんきまつり(運動会)をやりとげ、友だちと力を合わせることの大切さを感じていることを、「11月の指導計画」の記録欄で確認した。</p> <p>イ. 縦割りグループ活動(異年齢保育)では、年下や年少の子どもの世話やお手伝いに意欲を示す姿があることを、「7・8月の指導計画」の記録欄で確認した。</p> <p>ウ. 遊んでいる時に、自分の思いが通らなかつたりうまくいかない時に、口調がきつくなりトラブルになることがある。お互いの話を聞き、自分がされたらどんな気持ちになるか、どうしたらよいのか声かけし代弁しながら保育していることを、「1月の指導計画」の記録欄で確認した。</p>
<p>子どもと社会とのかかわりにおいて、人に役立つことの喜びを感じたり、人と関わることの楽しさを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>ア. 年齢に応じたお手伝いや当番活動を通して人の役に立つ喜びを感じられるようにする。保育者は子どもにしてもらったことについて感謝や承認の気持ちを言葉で伝えるようにする。</p> <p>イ. 世代間交流などを通して地域の方と積極的に関わられるようにする。</p> <p>ウ. 宿泊保育や園外活動を通じて身近な社会に興味を持てるようにする。</p>	<p>ア. 当番活動が良い影響をもたらした「あと〇日でお当番」「頑張る」など、役割を担うことで意欲的になったことを、「経過記録・特記事項 児童名〇〇」で確認した。昼食時にスープなどの配膳、食後に給食のアルミ箔の回収など、当番活動の様子を観察で確認した。</p> <p>イ. 4歳児と5歳児が老人介護施設を訪問し高齢者と玉入れを一緒に楽しんだことを、「行事計画書」の記録欄で確認した。</p> <p>ウ. 1泊2日の宿泊体験の中で、江ノ島に行き、海岸をきれいにしながらビーチコーミング(海岸での宝探し)を通じて、社会とのつながりや自然を大切にすることを経験したことを、「宿泊保育のお知らせ」で確認した。</p>

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、言葉のやりとりを楽しめるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>ア. 保育士と子どもが一对一で向かい合う機会を大切にし自分の気持ちを伝えたり表現出来るように時間を取っていく。</p> <p>イ. ゲームや伝承遊びを通じて言葉遊びを楽しむようにしている。</p> <p>ウ. 保育士が率先して生活の節目等に挨拶や適切な言葉遣いを出来るように心がけている。</p>	<p>ア. 1対1での関わりの際に、言葉がたくさん出てきて保育士に話しかけていることを、「7・8月の指導計画(1歳児)」の記録欄で確認した。クリスマスのリース作りで、話しかける子どもの気持ちを受け止め、話を聞いていることを、観察で確認した。</p> <p>イ. 縦割りグループ活動(異年齢保育)で、カルタ遊びを通じて言葉に触れていることを、「保育日誌(3歳以上児)」で確認した。</p> <p>ウ. 保育士が毎朝「おはよう」と挨拶を続ける中で、7～8日目になって子どもが「おはよう」と挨拶を返したことを、「家庭連絡帳」で確認した。保育士が率先して「こんにちは」と挨拶しそれに続いて子どもたちが挨拶したことを観察で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになること、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>ア. 活動の中で自らが経験した事柄を皆に話したり、他の子どもが話すことに耳を傾ける機会を作る。</p> <p>イ. 絵本や紙芝居の読み聞かせの時間を多く持っている。</p> <p>ウ. 子ども同士が生活や遊びの中でお互いに自分の気持ちを相手に伝えられるような経験を多く持てるように保育士が仲立ちしたり見守っている。</p>	<p>ア. 連休明けに、休み中の出来事を、順番を決めて話し、話すとすっきりして遊び始めたことを、「保育日誌(3歳以上児)」で確認した。</p> <p>イ. 午睡前の時間に絵本や紙芝居を読み聞かせ、入眠前の静かな環境を作っていることを、「デイリープログラム(2歳児)」で確認した。パネルシアターの「こまったぞう」や「まんまるちゃん」などの教材が準備されていることを観察で確認した。</p> <p>ウ. 戦いごっこがトラブルに発展したり、仲間に入れてくれないと泣いて訴えることがあった時に、保育士がお互いの気持ちをしっかりと聞けるよう仲立ちしながら保育していることを、「7・8月の指導計画(4歳児)」の記録欄で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、楽しんで表現することができるようにすることや表現したい気持ちを育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>ア. 保育者も一緒になって歌やリズムに合わせて体を動かしたり、年齢に合った楽器遊びや体操をする中で表現する楽しさを味わえるようにする。</p> <p>イ. 外部から演奏家や大道芸人を招いて様々な音楽や表現に触れられるようにする。</p> <p>ウ. いろいろな素材や道具に親しみ、やりたい活動が十分に楽しめるように時間を取っている。</p>	<p>ア. すくすくまつり(お遊戯会)で行うオペレッタの練習で、自分の役だけではなく他の役も覚えて一緒に踊り楽しんでいることを、「2・3月の指導計画(4歳児)」の記録欄で確認した。リトミックで用いるカスタネットなどの楽器が準備されていることを観察で確認した。</p> <p>イ. 大道芸人を招いて「たかやこどもまつり」を開催した時に、ハンドベルや皿回しなどに子どもが参加し楽しんだことを、「効果及び反省・次回への課題など」で確認した。ジャズ演奏会で、子どもが楽しんでいる写真が廊下に掲示されていることを観察で確認した。</p> <p>ウ. セタ製作で、シールを思い思いに貼ったり、ペットボトルのキャップを使用し絵の具をつけてスタンプしたことを、「保育日誌(2歳児)」で確認した。</p>

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、自発的に表現する意欲を育むことやみんなで一緒に表現する喜びを味わえるようにすること、創造的に表現することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>ア. 行事やお遊戯会に向かってみんなで練習をしたり同じ目標に向かって取り組み、達成感が味わえるようにしている。</p> <p>イ. 子どもの発想やアイディアを大切に出来るだけ汲み取りながら活動を発展させていけるように環境を整えている。</p> <p>ウ. 季節や行事に合わせて室内装飾を行ったり、テーマに沿った絵本や紙芝居の読み聞かせや読書の時間を充実させている。</p>	<p>ア. げんきまつり(運動会)の練習で、4歳児が3歳児にパラバルーンの並び順番を知らせたり、手をつないだりして一緒に練習していることを、「10月の指導計画(4歳児)」の記録欄で確認した。</p> <p>イ. 手遊びや歌、ダンスで、音楽に合わせて体を動かしたり、「さんぽ」の曲に合わせて友達と手をつないで歩くなど自由に表現していることを、「7・8月の指導計画(1歳児)」の記録欄で確認した。</p> <p>ウ. 保育士が「夏といえば?」とテーマを示し、スイカやプール、夏休みに行ったお祭りや花火など、子どもたちが思い思いに絵を描き、お互い見せ合ったことを、「保育日誌(3歳以上児)」で確認した。クリスマスの飾り付け、作っている最中のクリスマスツリーの作品を観察で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、聞く・見るなど感覚の働きを豊かにすることや身体を動かす楽しさを味わうこと、身近なものに対する興味や関心を引き出すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>ア. 子ども達が興味を持った絵本や紙芝居の読み聞かせ、季節に合った歌や手遊びを保育士と一緒に楽しんでいる。また、身近な素材を使い制作を行っている。</p> <p>イ. リトミックや体操、跳び箱やマットなどの体育活動を取り入れている。幼児クラスは週に一回のペースで外部から体育指導員に来てもらい体育遊びをしている。</p> <p>ウ. 積極的に園外にも出かけて行き、地域の自然に触れられるようにしている。公園では、広場や大型遊具を利用して体を十分に動かすようにしている。</p>	<p>ア. ジャズ演奏会で、初めて聴くジャズに少しずつ慣れて身体を揺らしたり、本物の楽器の音の大きさや迫力に驚いたことを、「効果及び反省・次回への課題など」で確認した。ジャズ演奏会で、子どもが楽しんでいる写真が廊下に掲示されていることを観察で確認した。</p> <p>イ. 年間を通じて、体操指導の先生が来園し指導していることを、「年間カリキュラム」で確認した。また、体育指導で用いる跳び箱やマットが準備されていることを観察で確認した。</p> <p>ウ. 公園からの帰り道、虫や草花を発見し友達同士で話していたことを、「保育日誌(3歳以上児)」で確認した。バッタを捕まえたりトンボを見つけたり、涼しい空気等自然の変化に気づいている姿を、「10月の指導計画(5歳児)」の記録欄で確認した。園庭から直接行ける場所に村岡城址公園があることを観察で確認した。</p>

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、身近な様々なものに対する探索意欲を満足させたり社会や自然の事象や、動植物への興味や関心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>ア. 草花の世話を経験し、成長記録を書いたり疑問に感じたことを自分たちで調べたりしている。</p> <p>イ. 地域の農家の畑でサツマイモなどの収穫体験をしたり自分たちで収穫した芋で焼き芋を体験したりしている。</p> <p>ウ. 毎週月曜日に幼児クラス合同の集会を開き、社会や身近で起こった出来事を判りやすく知らせ関心が持てるようにしたり保育園での約束事を伝えつつ社会のルールを伝えるようにしている。</p>	<p>ア. アサガオの成長を観察、カブトムシの幼虫の世話をする姿を、「7・8月の指導計画（5歳児）」の記録欄、「各クラスで掲示した栽培の写真」で確認した。一人ひとり植木鉢でクロッカスを栽培していることを、観察で確認した。</p> <p>イ. 地域の農家の畑でサツマイモの収穫体験をしていること、また、自分たちで収穫した芋で焼き芋を体験していることを、「行事計画書」の記録欄で確認した。</p> <p>ウ. 毎週月曜日に幼児クラス合同の集会を開き、高齢者施設訪問時のプレゼント作りや行事の絵など描いていることを、「週案-3・4・5歳児クラス（10月第5週）」で確認した。</p>
<p>自分から食べようとする意欲を育んだり、排泄をしようとする意欲を育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>ア. 保育士も一緒に食事をしながら楽しい雰囲気の中で食事が出来るようにしている。小さいお子さんの食事については食べやすいように食物の大きさを調節したり見守りながら一人で食べられるようにしている。</p> <p>イ. おむつをこまめに取り替えることにより快・不快が判るようにする。</p> <p>ウ. 家庭と連携を取りながら発達に合わせて無理はしないようにしながら排泄が自立するようにしている。</p>	<p>ア. 保育士も一緒に食事をしながら、会話に夢中になり食べ終わるのが遅くなる子どもや、立ち歩く子どもに対し、その都度声かけし対応していることを、「10月の指導計画（3歳児）」の記録欄で確認した。保育士も一緒に食事をし、その場でおかずを切って大きさを調節していることを、観察で確認した。</p> <p>イ. おむつをこまめに取り替え、濡れているおむつを替えてもらうことにより、気持ち良さが感じられるよう工夫していることを、「年間指導計画（0歳児）」の記録欄で確認した。オムツを交換する台、その脇にオムツ替えを記録するホワイトボードがあることを観察で確認した。</p> <p>ウ. 排尿間隔やトイレに行くタイミングなど、家庭と連携を取りながら、発達に合わせて排泄が自立するようにしていることを、「12月の指導計画（1歳児）」の記録欄で確認した。年齢により数種類のトイレが設置されていることを観察で確認した。</p>

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>身の回りのことを自分でしようとする意欲を育むことや基本的な生活習慣を身につけること、食事や休息の大切さを理解することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>ア. 日々の活動の節目等に声掛けをしていく中で休息や水分補給の大切さを知らせていく。</p> <p>イ. 毎日同じ生活の流れを繰り返しながら基本的な生活習慣や生活態度が身につくようにしている。</p> <p>ウ. 調理保育や収穫体験、リクエスト献立など様々な食体験をする中で食事の大切さを知り職への関心が高まるようにする。</p>	<p>ア. 子どもたち自身が休息や水分補給に気づけるよう、その大切さを伝えていることを、「7・8月の指導計画(5歳児)」の記録欄で確認した。</p> <p>イ. 特に新たな環境での生活が始まる4月、5月に、遊び時間にゆとりを持たせるなど工夫し、基本的な生活習慣を身につけ行動することを大切に保育していることを、「年間指導計画(4歳児)」の記録欄で確認した。「いただきます」の挨拶の後、マナーを大切にしながら食事していることを観察で確認した。</p> <p>ウ. 収穫体験でいもほりをしたことを、「収穫体験(写真)」で確認した。調理保育ですいとんを作って食べたことを、「調理保育実施計画案」の記録欄で確認した。調理室の食品庫に、子どもが仕込んだ味噌を観察で確認した。</p>

### 大項目3 保育園の特徴

#### 事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもの豊かな心と身体をはぐくむための特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>ア. 隣接する村岡城址公園をはじめ周囲に自然豊かな公園が多くあり四季折々の自然に触れながら散歩先で十分に体を動かして遊ぶことができる。</p> <p>イ. 3才から5才までの幼児クラスは定期的に縦割り保育を実施し異年齢と関わる中で年下の子の面倒を見たり年上の子へのあこがれの気持ちが育ったりしている。</p> <p>ウ. 図書室が常設されていて本の貸し出しをして親子の時間を作るのに役立てられている。</p>	<p>ア. 天岳公園に散歩で行き、葉っぱのなかをかいだり、きのこを見つけたり、木の実探しを楽しんでいる姿を、「保育日誌(3歳以上児)」で確認した。園庭から直接行ける場所に村岡城址公園があることを観察で確認した。</p> <p>イ. 縦割りグループ保育(異年齢保育)で、迷子にならないように年下の子どもの手をつないで歩く姿や、遊び方を知らせたりする姿を、「保育日誌(3歳以上児)」で確認した。</p> <p>ウ. 絵本・紙芝居の貸し出しの案内と貸し出し実績を、「入園のしおり」、「図書貸出記録」で確認した。独立した部屋として図書室があり、絵本や紙芝居が備えられていること、迎えに来園した保護者が子どもと図書室で絵本を眺め談笑するようすを観察で確認した。</p>
<p>保育環境に特別な配慮を必要とする子ども(長時間保育、障害児保育、乳児保育、外国籍園児)の保育に関しての特徴的な取り組みについて</p>	<p>ア. &lt;長時間保育&gt;朝夕の延長保育時間は、年齢、発達状況に合わせて少人数保育をするために部屋を分けている。</p> <p>イ. &lt;障害児保育&gt;地区別支援が必要と思われる児童については家庭と連携を取りながら発達相談の専門機関の支援を受け児童の発達にあった保育ができるよう</p>	<p>ア. 早朝の乳児利用が多いため、保育士が2名体制になった時点でグループを2つに分け、少人数で保育していることを、「視診連絡」で確認した。延長保育が、18時15分までは、年齢別に4つの部屋に別れ、少人数で行われていることを観察で確認した。</p> <p>イ. 遊びの中でルールがあると参加できない子どもに、椅子取りゲームなど簡単なルールの遊びを工夫するなど、児童の発達にあ</p>

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>て説明してください</p>	<p>に努めている。</p> <p>ウ. &lt;乳児保育&gt;乳児については、家庭連絡帳を用意し毎日、その日の体調や様子について連絡を取り合っている。</p>	<p>った保育が出来るように努めていることを、「特別支援保育対象児現況報告書（前期・後期）」で確認した。障害のある子どもが、他の子どもと一緒に遊ぶ様子を観察で確認した。</p> <p>ウ. 乳児については、家庭連絡帳を用意し毎日、その日の体調や様子について連絡を取り合っていることを、「乳児連絡帳」で確認した。保育士が1対1で乳児に声かけしながら保育しているのを、観察で確認した。</p>
<p>健康管理に特別な配慮を必要とする子ども(アレルギー疾患をもつ園児、乳児保育、病後時保育など)の保育に関する特徴的な取り組み(アレルギー食対応、個別食、離乳食など)について説明してください</p>	<p>ア. アレルギー食対応をしている。</p> <p>イ. 離乳食を実施している。</p> <p>ウ. 慢性疾患のある子どもについては医師の指示書に基づき薬を常時預かっている。熱性けいれんを起こす可能性のあるお子さんについても同様に薬を預かっている。</p>	<p>ア. 医師による除去食材などの指示を、「食物除去の指示書」で確認した。アレルギー除去食材が明記された献立表を、「週間献立表 3歳以上児」、他で確認した。調査当日の昼食は、アレルギー除去が必要ないメニューだったので、トレイに通常の食事が準備され配膳されているのを観察で確認した。</p> <p>イ. 離乳食を保育士の介助で食べたり飲んでいることを、「4月の指導計画(0,1,2歳児)」の記録欄で確認した。乳児に対し、保育士が介助しながら離乳食を食べさせていることを観察で確認した。</p> <p>ウ. 熱性けいれんのある子どもの与薬に関する医師指示書を、「与薬に関する主治医指示書(定時与薬以外)」で確認した。毎日、与薬を預かり対応、降園時に返却していることを、「与薬確認表」で確認した。与薬が、乳児の場合は部屋で、幼児は事務所で保管していることを観察で確認した。</p>
<p>食に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>ア. 二十四節気(暦の区分)を取り入れた献立を立てて子ども達にも季節を意識づけるように働きかけている。</p> <p>イ. 保育計画に調理保育を取り入れている。</p> <p>ウ. 食育計画に基づき焼き芋やふりかけ作りなど様々な食体験に触れるような機会を設けている。</p>	<p>ア. 二十四節気と食材について保護者に伝えていることを、「幼保9月基本献立について」で確認した。季節をとらえ、食育の一環として秋刀魚を焼いて給食で食べたことを、「さんまの食育」で確認した。</p> <p>イ. 調理保育ですいとんを作ったり秋刀魚を焼いて給食に加え食べたことを、「調理保育実施計画案」の記録欄、「さんまの食育」で確認した。</p> <p>ウ. 食育の一環として焼き芋を作り、おやつに食べたことを、「行事計画書」の記録欄で確認した。食べたい意欲を大切に、また、昼食時に子どもが手づかみで食べ、食材の特徴を知る機会としていることを観察で確認した。</p>
<p>家庭とのコミュニケーションに関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>ア. 懇談会前や保護者参加行事の後にアンケートを行い意見や要望を募っている。頂いた意見については懇談会や園長便りで回答し周知している。</p>	<p>ア. 保護者から出された意見を捉え、毎年保護者に提出を依頼している「緊急連絡カード」について、参考に前年のカードを返却することにした旨を、園長だよりで伝えていることを、「6月の園長からのお便り」で確認した。</p>

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>ださい</p>	<p>イ. 翌日以降も処置が必要なケガがあった場合は当日のうちに担任から保護者に直接連絡をしけがをした状況等について報告することになっている。</p> <p>ウ. 乳児については毎日の家庭連絡帳で糧と連携を取っておりお子さんの健康状態について一日24時間の様子が判るように努めている。</p>	<p>イ. 4月以降3ヶ月間に起こったひっかきやかみつきの16件のケガについて、保護者説明会で説明していることを、「保護者説明会(たんぽぽ組のかみつき・ひっかきについて)のご報告」で確認した。</p> <p>ウ. 乳児については毎日の家庭連絡帳で家庭と連携を取り、子どもの健康状態について一日24時間の様子が判るように努めていることを、「家庭連絡帳」で確認した。保育士が1対1で乳児に声かけしながら保育しているのを、観察で確認した。</p>
<p>地域の子育て支援に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>ア. 地域の児童館の子育て支援相談員として保育士を派遣している。</p> <p>イ. 隣接する公園を利用している地域の子育て家庭に保育園の見学や園のトイレの利用ができることなど情報提供している。</p> <p>ウ. 地震など広域での災害が発生した場合の、一時的な避難場所として園を解放する予定である。</p>	<p>ア. 地域の児童館の子育て支援相談員として保育士を派遣し、相談にのっている事を、「苦情・相談記録(地域育児)」で確認した。</p> <p>イ. 隣接する村岡城址公園に来る地域の子育て家庭に、チラシを配布し保育園の見学や園のトイレの利用ができることなど情報提供していることを、「どうぞ、気楽に高谷保育園に連絡を取ってください」で確認した。</p> <p>ウ. 地震など広域での災害が発生した場合、避難先の小学校まで行けない場合の、一時的な避難場所として受け入れる予定であるが、特に地域と話し合った記録や書面は確認できなかった。</p>

### 3. 利用者への調査

#### ～ 保護者アンケート調査を実施した結果です ～

##### (1) 調査の状況

調査期間	平成 29 年 8 月 1 日 ～ 平成 29 年 9 月 27 日
調査方法	所定の調査票（アンケート票）により実施した。
調査対象者の匿名化	調査は無記名で行い、調査結果から回答について個人が特定化される場合は、評価機関で匿名化を図った。
アンケート調査票の配布	対象者には事業所を經由して調査票を配布した。
アンケート調査票の回収	記入済みの調査票は対象者から直接、評価機関に郵送された。
回収の状況	調査票配布数 76 通 : 返送通数 60 通 : 回収率 78.9%

##### (2) 調査結果の傾向

###### ◆アンケート調査全体の傾向

- 園の保育方針、保育内容について、「知っている」86.7%、「知らない」が11.7%となっている。
- お子さんの個別の事情（アレルギー・家庭の事情）について、「相談しやすい」63.3%、「やや相談しにくい」「相談しにくい」合わせて13.3%となっている。
- 遊具の清潔や安全面の配慮について、「配慮が感じられる」83.3%に対し、「少し心配がある」16.7%、「心配がある」0%となっている。
- 不審者侵入防止などの防犯対策について、「安心が感じられる」55%に対し、「少し心配がある」40%、「心配がある」5%となっている。
- 事故や災害時の連絡体制について、「安心が感じられる」75.0%に対し、「少し心配がある」23.3%、「心配がある」1.7%となっている。

○園の良い点の自由記述は 100 件あり、環境面では、「清潔で整理整頓されていて、子どもたちも気持ちよく過ごしている。」保育内容では、「園庭で子どもたちがおもいきり遊べる。縦割り保育の日を設けて、他の学年の友達と触れ合える。週に一度、体育専門の先生の授業がある。図書室に本がたくさんあるので毎日借りている。幼児クラスになれば外遊びが多い。給食やおやつは手作りで、子どもがとてもおいしいと言っている。先生同士が親しい仲で、とてもあたたかい雰囲気の入園した初日から、担任以外でも子どもの名前を覚えてくれている。」といった点があげられている。

○改善して欲しい点の自由記述は 46 件あり、「お迎えが担任のいない時間帯なので園の様子が分からないことが多い、連絡帳の記載を充実してほしい。図書室の本の破れなどチェックしてほしい。階段が急なので落ちそう。もう少し整備してほしい。玄関を施錠しても園庭に入れるのでセキュリティ面で心配。」といった点があげられている。

○その他の自由記述は 38 件あり、「こちらの要望や意見に常に耳を傾けてくれる、子どもの様子の報告などがとても敏速、園の雰囲気がいつも明るく元気な点が良い、保育園として大満足している。保育参観をしてほしい。家では体験できないようなこともできる。子どもがいつも笑顔で帰ってくるので、保育園での生活を楽しんでいると思う。」などが記載されていた。